

日本刀はなぜチベットに舞ったか

—祝『チベットに舞う日本刀』 榎山純三賞受賞学術シンポジウム—



楊海英静岡大学教授の著書『チベットに舞う日本刀』（文藝春秋）が、このたび榎山純三賞を受賞いたしました。これを記念する学術シンポジウムを今回開催いたします。

現代史の中で、日本の支配が南モンゴルにどのような影響を与えたか。興安軍官学校における軍事教育の意義は何だったのか。

第二次世界大戦後、日本刀で武装した**モンゴルの騎馬軍団**がたどった**悲劇**、**チベット弾圧のために**派遣され、かの地で両民族にもたらした悲劇を日本、チベットの論客とともに語る学術シンポジウムです。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

式次第

12月
19日(土)

開場	13:30
第一部	14:00～15:00 楊海英、『チベットに舞う日本刀』
休憩	15:00～15:20
第二部	15:20～17:00 パネルディスカッション（コメンテーター）： ペマ・ギャルポ（桐蔭横浜大学教授）、楊海英（静岡大学教授）、 三浦小太郎（評論家）、ボヤント（法学博士）
第三部	18:00～19:30 懇親会（場所未定）



楊海英（よう・かいいい）1964年、内モンゴル自治区オルドス生まれ。北京第二外国語学院大学日本語学科卒業。1989年来日。国立民族博物館・総合研究大学院大学博士課程修了。博士（文学）。現在静岡大学教授。『墓標なき草原—内モンゴルにおける文化大革命・虐殺の記録』（上下、岩波書店、2009年）で14回司馬遼太郎賞を受賞。



ペマ・ギャルポ 1953年、チベット生まれ。1978年、上智大学国際学部大学院中退。1980年、ダライ・ラマ法王アジア・太平洋地区担当初代代表。1997年、拓殖大学海外事情研究所客員教授。2001年、チベット仏教ニンマ派総宗門顧問。2005年、桐蔭横浜大学大学院法学研究科教授。アジア自由民主連帯協議会会長、桐蔭横浜大学教授。

会場 TKP スター会議室飯田橋駅前
東京都新宿区揚場町 1-21 飯田橋升本ビル 8階
TEL 03-4577-9240
東西線、南北線、有楽町線「飯田橋駅」
B4A 出口より徒歩 1分
JR 線「飯田橋駅」東口より徒歩 2分
http://www.kaigishitsu.jp/room_jidabashiekimae.shtml

参加費 1,000円

主催 南モンゴル文化促進会

共催 静岡大学人文社会科学研究所大野旭研究室

連絡先 03-3681-9309
080-3834-9633 080-3652-0935
メールアドレス：info@smldf.org



MAP